



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No.5

2010.8.4 (No.2602)

第2560地区ガバナー／東山 昕也
会長／樺山 仁
会長エレクト／山田 富義 (クラブ奉仕A)
副会長／杉山 幸英 (クラブ奉仕B)
幹事／明田川 賢一
S A A／若槻八十彦
会計／松永 一義

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

■本日の出席会員数:55名中37名
■先々週出席率:75.47%

【ヴィジター】

三条ローターアクトクラブ会長
・赤坂広太郎さん
米山奨学生
・ジャック・ティオ・ヨー・チオ君

【先週のメイクアップ】

- [8.1] 会員増強・クラブ活性化委員会へ
・成田秀雄さん
- [8.2] 三条南RCへ
・樺山 仁さん
- [8.3] 三条北RCへ
・成田秀雄さん、 樺山 仁さん



「地域を育み、大陸をつなぐ」

2010～2011年度国際ロータリーのテーマ

「花火」



会長挨拶

樺山 仁 会長



御挨拶致します。

いよいよ夏の装いになりました。

南半球は冬。6月13日オーストラリアの砂漠に、日本の小惑星探査機「はやぶさ」が、7年ぶりに帰還しました。

金メダルに値する偉業を成し遂げ、この挑戦に表敬の念と、大きな成果を上げた事は、素晴らしい事であります。

当初は4年計画の予定の様でしたが、7年ぶりの帰還となりましたが、目標の大半を達成して、宇宙探査の扉を開いた訳です。

宇宙開発への取り組みは、GPSなどにも代表される様に、生活と密接に結びついている様で、宇宙の平和利用を鉄則としている唯一の国が日本です、日本の科学技術の粋を生かして前進してもらいたいと思います。

先日「はやぶさ」のイオンエンジンの素晴らしさに、アメリカ大手エンジンメーカーとの共同研究をする事に、日本とアメリカが調印した様です。

日本の技術力の高さに誇りを持って、人類の為に貢献して欲しいと思います。

日本の技術力の高さに誇りを持って、人類の為に貢献して欲しいと思います。

さて、無から有を生んで来た人間の知恵は、生存に必要な能力です。我々のロータリークラブも、時代時代へと進化せねばと思っています。

挨拶を終わります。

幹事報告

明田川賢一 幹事

◎東山ガバナー事務所より、「第2560地区 第10回ライラ研修」のご案内が届いております。

と き 9月25日(土)～26日(日)

ところ 敬和学園大学 (新発田市)

◎ロータリー囲碁同好会より、「第9回ロータリー全国囲碁大会」のご案内が届いております。

と き 10月16日(土)

登録受付 AM9:30～

開会 AM10:00～

ところ 日本棋院会館 (東京・市ヶ谷)

ニコニコBOX

樺山 仁さん

夏も盛りでヒートアップです。小越さん、会員増強の件よろしくお願ひします。

ローターアクトの協力もたのみます。

佐野勝榮さん

この度の父の葬儀に大勢の皆様からご会葬いただき、誠にありがとうございました。

荻根澤隆雄さん

お暑うございます。

会員増強委員長の小越さん、今日は熱弁でお願い致します。

斎藤弘文さん

昨夜、長岡の花火を見物しました。何時みても素晴らしく、感動致しました。

野崎喜一郎さん

8月1日、三条祭りの花火を越前屋ホテルの屋上で見ました。おいしい料理と、美しい花火を十分に楽しみました。

明田川さん、ありがとうございました。

五十嵐昭一さん

暑い夏が続いております。健康に注意して、水分を余分に(アルコールではなく)飲みましょう。

中村和彦さん

暑い日が続きます。

私は仕事から塩アメをなめています。

小越さん、卓話を楽しみにしています。

菊池 渉さん

暑くて眠れない夜を過ごしています。眠れないのは暑さのせいだけではないのかも知れませんが。

小越憲泰さん

今日は私のつたない卓話ですが、よろしくお願ひ致します。

松永一義さん

三条・長岡の花火連続で楽しみました。

あの花火いくらなんでしょうね?

山田富義さん

小越会員増強委員長、卓話ご苦勞様です。

初めて席に座ります。

明田川賢一さん

小越さん、卓話よろしくお願ひします。

新会員の増強もよろしくお願ひします。

支援致します。

渡辺 稔さん

都合にて早退させていただきます。よろしくお願ひ致します。

船越正夫さん、丸山行彦さん、歸山 肇さん、藤田紘一さん、熊倉昌平さん、若槻八十彦さん、高橋 司さん、杉山幸英さん、成田秀雄さん、小出子恵出さん、五十嵐晋三さん、会田二郎さん

小越会員、卓話ご苦勞様です。

楽しみにしております。

8月4日分 ￥34,000

今年度累計 ￥163,000

三条ローターアクトクラブより



三条ローターアクトクラブ会長

赤坂広太郎さん

三条ローターアクトクラブの今期会長を務めます、赤坂広太郎と申します。

本日は貴重な時間を割いていただきありがとうございます。

今回はローターアクトクラブについてお話をさせていただきますと思います。

当クラブは月に二回の例会を行い、奉仕活動は毎月の朝清掃を中心に、障害者支援施設「長久の家」の方々と餅つき交流会などをして、地域への奉仕を主眼として活動しております。

ただ現状と申しますと先ほど、樺山会長様よりご紹介のあった通り、会員数が少し寂しくなっております。この場をお借りしてアクトクラブの魅力をお伝えして、ぜひとも新入会員増強にご協力いただけたらと思います。

アクトクラブに入会しているメンバーにも様々ありまして、ボランティア活動に興味があって入会した者、会社から行くように言われて入会している者など、なんとなく入会している者などがおります。私などはよく分からないうちに入会した口でありまして、もともとボランティア活動からも縁遠い生活をしておりました。

我ながらそんな自分が入会してもいいものかと思いましたが、いざ始まってみると不思議なもので、どうせ活動するのなら楽しんでいこうという気持ちがめばえまして、何事も積極的に参加していくようになっていきました。

またアクト活動を通じて様々な仲間とも会う機会が増えまして、話をきいていると私と同じように思った人が多くいるようなのです。ほんの些細なことですが、自分の成長を感じられると嬉しくなるものです。そこから色んなことに首を突っ込んで企画などを考えるようになり、気が付けば今回のように皆様の前に立ってお話させていただくという、非常に貴重な体験をさせていただいています。

このように非常に緊張する機会はアクトクラブに入っていないければまず経験できなかったと思います。10代、20代に経験したこと、苦勞したこと、またその時を分かちあった仲間というものは一生涯でも得がたいものと思います。

勤めながら活動する中でも、あくまで楽しみながら、自分たちが楽しいと思うことをしていなければ他の

人には伝わりません。メンバー一同は楽しんでもらうことを忘れず、社会や地域へなにか貢献できないかと考えております。

入会にあたり難しい規約等は特にありません。

18歳から30歳までの方であれば、会員からはお弁当代を毎月2000円だけいただいて活動しております。やろうと思えばなんでもできるアクトクラブへと、ぜひとも皆様から新会員をお誘いいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

卓 話

「会員増強拡大月間」

地域を育 会員増強委員長 小越憲泰 会員



今年度の地区方針で東山ガバナーは「熱意ある行動こそ奉仕の本質です」と言われております。

その中でロータリーの会員が自らの職業に誇りを持ち、交友関係を広め、地域の経済力を高め、ロー

タリークラブの認知力を発揮するには一定の会員数を確保する事が必須条件であると述べられています。

そこで会員増強・拡大委員会として

1. 期末に期首対純増各クラブ1名
2. 既存会員の退会防止
3. 会員増強セミナー開催とAGと共催する会員増強分区会議の開催

に努めていきたいとうたわれています。

ロータリーはクラブが主体であり、一人一人のロータリアンのあり方と、その活動が大切であります。

現在ロータリーが抱えている共通の問題として「組織強化」と「クラブの活性化」そして「会員増強」があります。これらは相互補完的な関係にあります。すなわち「クラブの組織強化や活性化」を図る事により会員増強に繋がり、「会員増強と退会防止」は魅力あるクラブ充実なしには、なし得ないと言う関係にあります。

現在ロータリークラブは世界200以上の国と地域に広がり、クラブ数33,855、会員数1,224,384名に達しています。

日本国内ではクラブ数2,303、会員数は91,875名であり、1クラブ平均39.8名であります。12年前は2,238クラブ、会員数は131,731名であった事からも年々会員減少の一途を辿っております。

2560地区でも毎年会員減少が続いております。10年程前は2,475名だった会員が2,120名で355名の減少になっております。然し2年前と3年前に2年連続会員増強日本一を達成しております。

現在三条市内には4つのロータリークラブがあり、会員数は約220名です。

三条市民473人に一人がロータリアンであります。15年前は407人に一人がロータリアンでしたので、これだけを見ても当クラブを含めても会員が減少しているのが分かります。然し現在市民473人に一人のロータリアンが居る事は多分この20年間2560地区で一位であります。

ついでですが、三条市内には4つのロータリークラブと5つのライオンズクラブがありますが、市民の約250人に一人が何らかのクラブに所属していることになり、この数字も県内一位であります。

いかなる団体でもその活力を維持し発展させて行くためには、会員の増強拡大を図る事が必須条件であります。

ロータリークラブも同じであります。会員の自然減・社会減を踏まえて、会員増強はクラブ組織強化とクラブ運営や奉仕活動の充実に重要なポイントであり、そのまま組織力の強化、クラブの活性化に繋がります。RI会長は「ロータリー組織の最大の目標は会員数を増やす事ではなく、入会資格と新会員の質、数と質の両面でグローバルに会員を増強する事」と話されております。即ち会員増強では単なる数の問題だけでなく、会員となる方の質も重視しなければならない。又会員となった方のロータリーとしてのリーダーシップ育成も必要と話され、職業奉仕の大切さも強調しております。

全ての組織は、自然に任せておくと、高齢・病気・死亡・転勤等で会員が減少します。どんな組織でも会員減少は死活問題です。言い換えれば、会員は常に増強・維持・強化が必要なのです。会員が多くなれば、互いに触れ合う摩擦熱で組織は活力や魅力を増すのです。

既存会員の退会防止や新会員の増強は、避けて通れないロータリーの課題です。

絶えず一人一人が適格な会員の発掘と増強を心掛け、そこから共鳴者を獲得し、共感者の輪の中から、新たなロータリアンを育てる事が求められます。

然し、新会員の勧誘に行きますと、よく言われる言葉があります。それはロータリークラブに入ると何のメリットがあるのかと言われるのです。私はその時必ずメリット・デメリットはあなたが入会して会の運営に積極的に協力して初めて発生するものです、ロータリーは友達作りの場なのですと説明する事にしています。

ロータリークラブがシカゴで発足した当初はお互いに親睦を深める社交クラブでありました。途中会員の事業にお互いが利便を図り合う「相互扶助」の時期もありましたが、社会的な批判を受けて、奉仕を目的とした現在の状況に落ち着いて来たのです。

ロータリーは友達作りと友達の集まる会です。(ロータリーの原点)

友達作りには週一回の例会出席が第一であります。そして各種会合に参加する事で尚一層の友達作りが

出来ます。ロータリーの会費は会社の大小にかかわらず皆同じです。例会の会場で食事をしながら会員歴の長い先輩の人生観や経営感等を聞く事が出来るだけでも大変な勉強になります。

私事ですが、5年前に当クラブの会長をさせて頂いたおかげで多くの会員の皆様をより深く理解し、友情の素晴らしさを確認できました。

その当時の強い思い出を二つ程、話をさせていただきます。

その一つは社会奉仕委員長の川瀬さんを通じて、NPO「ネットワークみどり」から須頃郷第2公園に東屋を作って欲しいとの要請がありました。メンバーの皆さんに相談したところ社会奉仕活動の一環として作る事になりました。資金は皆さんが毎週協力して頂いているスマイルBOXから出す事になりました。工事は全て当クラブのメンバーがボランティア精神を發揮して頂き、素晴らしい東屋が完成しました。東屋の名称をメンバーの皆さんに公募したところパストガバナーの藤田説量さんの提案された「座忘亭」に決まりました。そして藤田さんから「座忘亭」と揮毫して頂いたプレートを取り付け三条市に寄贈致しました。現在公園利用者の休憩所として利用されております。何か心穏い思いになりました。

もう一つは台湾の新竹城中RCとの友好姉妹クラブの調印式です。

当クラブのメンバー12名と渡辺勝利会員の奥様を含めて総勢13名で4泊5日の台湾旅行でした。台湾での調印式の式場のステージの上で国歌「君が代」を歌った感激は今でも忘れる事が出来ません。又近藤国際奉仕委員長と共に調印した事は私にとって最初で最後の晴れがましい晴れ舞台でした。

これらの思い出はロータリーからのプレゼントとっております。

未だ会長経験されていないメンバーの皆さんも会長になってください。何か良い事があるかもしれません。

話が会員増強とは反れてしましますが、ロータリーの素晴らしさを再認識した事があります。それは6年前の7・13水害で嵐南地区に大きな被害が発生しました。その時、日本国内はもちろんの事、世界中のロータリーから多くの見舞金が寄せられました。

三条地区にも見舞金が分配されました。分配されたお金で水害の被害が大きかった嵐南地区の小中学校や幼稚園・保育所に教育機材を寄贈し大変な感謝を受けました。私は四日町小学校の入学式や卒業式に行く事があります。ステージの緞帳には寄贈者の

名前が刺繍されております。三条・南・北ロータリークラブと示されております。それを見る度に私が寄贈した訳でもないのにロータリーの会員でよかったと感謝しております。

さて、会員の増強は増強委員会だけの仕事ではありません。メンバー全員の協力が必要であります。そこで提案があります。委員長として皆さん全員に推薦依頼書を近いうちにお送りし、最低一名以上の推薦をお願いするつもりです。その推薦依頼書に基づいて複数のメンバーで訪問し、入会の勧誘に努めるつもりですのでご協力をお願い致します。

会員増強と共に大事なのが会員の退会防止であります。

1. 増強より退会防止
2. 特にロータリー歴の長い会員の退会防止
3. 会員歴の長いメンバーの意見の尊重と意見の活かし方 (5年・10年・20年以上)
(古参・中堅会員の声より、一部声の大きい会員にクラブが左右されてないか)
4. 入会手続きの厳格化と会員選考委員会と連携強化 (古参・中堅会員の意志尊重)
5. 精神は一業種一人 (クラブ方針でOK)
6. etc

又3年未満の会員の退会が多い現状を何とかしなければなりません。

1. しっかりと入会前のオリエンテーションを実施する
2. 推薦者、増強委員、情報委員の皆様に新会員に疎外感を感じさせないような確実なフォローをお願いする
3. できればクラブで入会式、歓迎会等を行い、新会員に居場所と満足感を与えるように努める
4. また、新会員にふさわしい役割、分担を配慮する

今年度は既に渡辺さんという素晴らしい会員が入会されておられますが、1年休会されている会員がおられますので、是非あと一名の会員の増強をお願い致します。

「手締め(手打ち)の作法」

手締め(手打ち)は現在ほぼ全国的に江戸流が主流だそうで、「一本締め」と「三本締め」があります。「一本締め」は「シャシャシャン、シャシャシャン、シャシャシャン、シャン」の「3・3・3・1」調子。これを「三本締め」といいます。

